

全建

補助金の申請受け付け

ICT機器購入生産性向上後押し

全国建設業協会（全建、
今井雅則会長）は地域建設

業などの生産性向上を後押
しする。ICT機器の購入

などにかかる費用の

補助金事業で、交付

の申請受け付けを17

日に始める。時間外

労働上限規制の適用

を受け生産性向上が

課題となる中、ドロー

ンやウェアラブル

カメラといったICT

T機器の普及を通じて、生
産性向上や自然災害発生時
の応災力強化につなげる。

国土交通省の「建設市場

整備推進事業費補助金」を

全建が代行して執行する。

予算額は約2億4000万

円。ICT機器の購入やI

CT機器を活用した防災訓

練にかかる費用の2分の1

を補助する。5月30日まで

申請を受け付ける。対象は
建設業に関連した団体や建
設会社など。全建傘下の団
体や企業でなくても申請で
きる。募集要領の詳細は全
建ホームページから確認で
きる。

ヤナー（LS）など。防
災拠点となる業界団体の連
絡体制構築を目的とした次
世代衛星通信サービス「ス
ターリンク」の導入も対象
となる。

申請を締め切った後、補
助対象を審査・決定して交
付対象者に通知する。補助
対象となるのは災害時の応
急復旧を想定した防災訓練
に当たり、作業員の技術習
得や対応強化につながるI
CT機器。具体的には▽ウ
ェアラブルカメラ▽ドロー
ン▽遠隔縦横装置▽四足歩
行ロボット▽レーザースキ

全建が傘下の建設業協会
や会員企業などを対象に実
施したアンケートでは、重
点課題として生産性向上を
指摘する回答が多い。2月
に首相官邸で行った石破茂
首相、中野洋昌国土交通相、
業界団体との車座対話の場
で全建は生産性の向上に取
り組み、定期的にフォロー
アップすることなどを申し
合わせている。



補助金事業の周知リーフレット

1～3月期
建設業景況

「悪い」傾向変わらず

3保証 資材価格、労賃上昇強まる

北海道、東日本、西日本の公共工事前払金保証事業会社3社は1～3月期の建設業景況調査の結果を公表した。地元建設業界の景気に関するBSI値（景況判断指数）「良い」と「悪い」の回答差は、 ± 9.5 。前期（24年10～12月期）から1.0ポイント改善したが「悪い」傾向が続いている。 ± 16.0 と地区別で最も悪かった東北をはじめ、全国で景況感は悪い傾向が出ている。受注総額のBSI値は2.0ポイント改善したものの、 ± 8.0 で「減少」傾向のままとなっている。

資材価格や労務賃金の上昇傾向が強まっている。資材価格のBSI値は2.0ポイント上昇の31.5。上昇した資材として「生コン・セメント」（回答率39.8%）、「コンクリート二次製品」（19.4%）、「砂利・碎石・砂」（17.3%）、「アスファルト合材」（13.5%）が多く挙がる。労務賃金のBSI値は0.5ポイント上昇の26.0。労働者の確保に関するBSI値は1.5ポイント悪化の ± 26.5 で「困難」傾向が強まっている。

資金繰りに関連した調査項目で、支払手形の平均サイトを「60日以内」と回答した建設会社は57.8%。前期から4.0ポイント上昇した。下請法や建設業法に基づき指導対象とする割引困難な手形のサイトの基準が120日超から60日超に見直された24年11月1日以降、サイトの短縮化が大きく進展した。手形利用を禁止する下請法改正案などを見据えた支払い手段の見直しが続けられ、後さらに求められる。

北海道、東日本、西日本の公共工事前払金保証事業会社3社は1～3月期の建設業景況調査の結果を公表した。地元建設業界の景気に関するBSI値（景況判断指数）「良い」と「悪い」の回答差は、 ± 9.5 。前期（24年10～12月期）から1.0ポイント改善したが「悪い」傾向が続いている。 ± 16.0 と地区別で最も悪かった東北をはじめ、全国で景況感は悪い傾向が出ている。受注総額のBSI値は2.0ポイント改善したものの、 ± 8.0 で「減少」傾向のままとなっている。

資材価格や労務賃金の上昇傾向が強まっている。資材価格のBSI値は2.0ポイント上昇の31.5。上昇した資材として「生コン・セメント」（回答率39.8%）、「コンクリート二次製品」（19.4%）、「砂利・碎石・砂」（17.3%）、「アスファルト合材」（13.5%）が多く挙がる。労

建設業の災害対応 P R

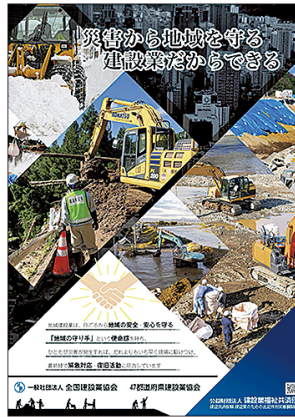
全建、コンテンツ作製

小冊子とポスター 広報活動を強化

全国建設業協会（全建、今井雅則会長）は自然災害発生時などに対応する建設業をPRするコンテンツとして、小冊子とポスターを作製した。災害時などに活躍する建設業を広報する取り組みの一環。小冊子とポスターは各建設業協会に配

布し、一般の人が建設業への理解を深めるのに役立ててもらおう。

『漫画でわかる！建設業の災害対応』は、2024年に全建がYouTubeの公式チャンネルで公開したマンガ動画「なるほどーそうだったのか！〜大学生が



小冊子表紙④と災害対応 P R ポスター

見た建設業の災害対応」を冊子にした。

防災サークルに所属する2人の大学生が、地域建設業の職員に案内されて台風被害を受けた宮崎県日向地区の災害復旧工事現場を見学するというストーリー。

発災から現場対応までの流れや、復旧工事に活用するドローンや遠隔操作など最新技術を解説している。東日本大震災や能登半島地震の被災現場で活躍する建設業の説明も追加した。

ポスターには災害対応に従事する地域建設業の姿を捉えた記録写真を用いた。いち早く現場に駆け付け、最前線で緊急対応に当たる建設業の役割をPRしている。